

感染性胃腸炎対策について

感染性胃腸炎は、「O157」や「ノロウイルス」など、身近で誰にでもかかる感染症です。感染性胃腸炎についてまとめましたので、しっかり対策を行い、健康に過ごしましょう。

1. 感染性胃腸炎とは

細菌(細菌性胃腸炎)、ウイルス(ウイルス性胃腸炎)、などの病原体が腸に感染して、主に、吐き気、嘔吐、下痢、発熱、腹痛などの症状が現れます。



2. 感染性胃腸炎の特徴と代表例

胃腸炎の種類	菌、ウイルスの代表例	感染源	感染経路
細菌性胃腸炎 (別名：食中毒)	腸管出血性大腸菌(O157) サルモネラ菌 腸管ビブリオ カンピロバクター	加熱の足りない肉、生肉、乳製品、刺身、卵など。 感染力は弱い。 主に、流行期間は6月~9月。	・経口感染
ウイルス性胃腸炎	ノロウイルス ロタウイルス(子供に多い)	主に、貝類。 感染力はとても強い。 主に、流行期間は10月~2月。	・経口感染 ・空気感染 ・接触感染

※ウイルス性胃腸炎は、自身で貝類を食べなくても、感染者から**容易に感染します。**

※**空気感染**：嘔吐物等へ接近や、クシャミ、咳がかかることで感染。

※**接触感染**：感染物(人)を触る事で感染。



3. 感染性胃腸炎(細菌性、ウイルス性)の予防方法

- (1) 手洗い、うがいをこまめに行いましょう。
特に、外出先から戻った時にはしっかり行いましょう。
- (2) 調理をする場合は、しっかり加熱をしましょう。(85℃、1分以上)
- (3) 感染した人には近づかないようにしましょう。
- (4) 嘔吐物等に近づかないよう気を付けましょう。(公衆トイレの使用は控える。)



4. 感染性胃腸炎と思ったら

- (1) **就業先へ必ず連絡をしましょう。**
※TSO へも必ず連絡をする。
- (2) 速やかに、医療機関へ行き、検査を受けましょう。
- (3) 外出する際は、必ずマスクを着用しましょう。(二次感染予防)
- (4) こまめに水分補給をしましょう。
※嘔吐、下痢が続く場合は脱水症状になりやすいため、気を付けましょう。

《参考》

【会社や自宅で感染者が出た場合】

- (1) 必ずマスクを着用し、こまめに手洗い、うがいをしましょう。
- (2) 感染者が触れた場所は必ず消毒しましょう。(トイレを含む)
 - ① **250倍希釈**の次亜塩素酸ナトリウム液を用い、雑巾等で手がよく触れる部分、不特定の人が触れる部分 (ドアノブ、手すり、照明スイッチ、テーブル椅子、床、壁、水道の蛇口、パソコンのキーボード、電話機、便座 など) を**2度拭き**しましょう。
 - ② 「便器の内側」は、**50倍希釈**の次亜塩素酸ナトリウム液をまんべんなく浸し、トイレ清掃用のブラシを用いてこすりましょう。**30分以上経過**した後、水を流しましょう。
 - ③ 感染者が着替えた衣類等は、**250倍希釈**の次亜塩素酸ナトリウム液に**30分以上浸**した後、通常の洗浄をしましょう。※衣類の脱色に注意しましょう。

<次亜塩素酸ナトリウム（市販の漂白剤「ハイター」等）の薄め方>

● **50倍希釈** （汚物処理等に使用）

ペットボトルに、市販の塩素系漂白剤をペットボトルのキャップ2杯分(10ml)を入れた後、水を満杯まで入れる。

● **250倍希釈** （室内清掃等に使用）

ペットボトルに、市販の塩素系漂白剤をペットボトルのキャップ半分(2,5ml)を入れた後、水を満杯まで入れる。

(3) その他

嘔吐物等の処理方法については別添資料参照

「汚物処理のマニュアルカード」



汚物処理のマニュアルカード

スマートハイジーン 汚物の処理セット内容



- 使い捨て手袋 2双(4枚)
- 使い捨てガウン 1枚
- 使い捨てマスク 1枚
- 使い捨てシューズカバー 1足(2枚)
- ポリ袋(一次二次回収袋) 2枚
- ペーパータオル 20枚
- マニュアルカード 1枚

あらかじめ準備するもの

- 塩素系漂白剤 (※濃度記載)
- 「スマートハイジーン嘔吐物固め剤」(なくても使用できます)
- 3L以上入る調整容器 (バケツ、ポリタンクなど)

業務用

一般のご家庭でご使用の場合は、カーペット、じゅうたん、たたみ、フローリングなど「塩素系漂白剤」で脱色または変色することがありますので、ご注意ください。

Point 1



手袋の2枚重ね、回収袋の二重使用が重要です。また、嘔吐物は広範囲に飛び散りますので、広めに処理をしてください。できるだけ汚染を広げないように速やかに処理しましょう。

Point 2

汚染した手袋の外し方



① 手袋の袖口をつかんで手袋の外側が内側になるように引っ張り出します。

② もう片方の手袋外側に触れないように、手袋を外した手を袖口に差し入れます。

③ ①と同じように外側が内側になるように引っ張り出します。

準備

1 感染防止品の着用

使い捨て手袋、マスク、ガウン、シューズカバーを着用します。

装飾品は外します。



汚物の処理セットで全て揃います。

2枚重ねがPointです。



青色手袋をはめてから透明手袋を着用する!

※足元の汚染に配慮して、使い捨てシューズカバーを状況に応じてご利用ください。滑りやすい床面では転倒の恐れがありますので十分にご注意ください。

2 ゴミ袋の準備

2つのゴミ袋の口を開けて用意しておきます。



※ゴミの廃棄は自治体の定める方法にしたがってください。

3 塩素系漂白剤の調整方法

(1000ppm以上)

塩素系漂白剤 5~6% 100mL
(一般的な塩素系漂白剤のことです。)

※バケツやポリタンクに調整する。



準備ができたなら汚物の処理スタート 次のページにつづく

汚物処理のマニュアルカード

汚物(嘔吐物・排泄物等)の処理

1 換気、立ち入り禁止

汚物の処理時は窓を開けるなど、換気を十分にを行い、処理する人以外の人は汚物に近づけないように配慮します。



2 汚物の凝固

嘔吐物
固め剤が
ある場合…

嘔吐物固め剤を汚物にまんべんなくふりかけ、2分程度静置し、凝固させます。



※汚物が固まるので、処理時のウイルス拡散が軽減されます。

2 汚物の処理

嘔吐物
固め剤が
ない場合…

汚物を外側からペーパータオル等でおい、調整した次亜塩素酸ナトリウム液を汚物の量と同量分、汚物が飛び散らないように静かに注ぎます。



3 汚物の回収

ペーパータオルを使って、汚物を外から内に向けて静かに取り除き、一次回収袋に入れます。



※同一面ですると汚染が広がるので注意しましょう。

4 使用品と手袋の回収とシューズカバーの清浄化

使用したペーパータオル、外側の透明手袋を一次回収袋に入れます。調整した次亜塩素酸ナトリウム液に浸したペーパータオル等で、シューズカバー表面・底面に付いた汚物を拭き取ります。(底面は足踏みするとよい。) 使用したペーパータオル等は一次回収袋に入れます。



※汚染した手袋の外し方は、Point 2 を参照

5 一次回収物の清浄化

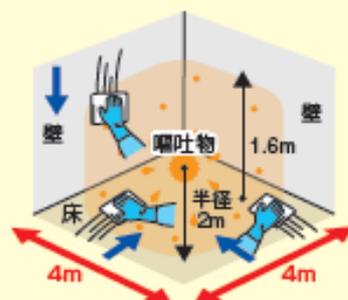
調整した次亜塩素酸ナトリウム液を内容物がまんべんなくぬれる程度に入れ、袋の口を液が濡れないようにしっかりしぼります。一次回収袋を二次回収袋に入れます。



6 床および壁の清浄化

汚物を取り除いた床は、ペーパータオル等でおい、調整した次亜塩素酸ナトリウム液(以下、「調整液」とする)を注ぎます。壁は調整液に浸したペーパータオル等を貼り付けます。10分程度おいた後、新しいペーパータオル等で取り除き、二次回収袋に入れます。さらに、調整液に浸したペーパータオル等で汚染範囲の床・壁等を拭き取り、その後、水拭きします。

※嘔吐物は半径2m、高さ1.6m程の広範囲に飛び散りますので、下の図を参考に、広めに処理してください。床は外から内に、壁は上から下に向かって処理します。



※カーペット、じゅうたん、たたみ、フローリング、壁紙など「亜塩素漂白剤」で脱色される可能性があるものは、「酸素系漂白剤」を50倍に希釈したものをご使用ください。

7 感染防止品の取り外し

シューズカバーを外し、次いで、手袋、ガウン、マスクの順に、表面を触らないように外し、その都度二次回収袋に回収します。二次回収袋の内側を触らないように注意して、口をしっかりとしぼり、ゴミとして処分します。



※汚染した手袋の外し方は、Point 2 を参照

※ゴミはリサイクルせず、すべて廃棄してください。ゴミの廃棄は自治体の定める方法にしたがってください。

8 手洗いとうがい

処理後には手洗いを2度行い、うがいをします。



※手のシワに入り込んだウイルスまで取り除くために、入念な手洗いを2度行い、ウイルスを物理的に除去することが有効です。